

港湾振興便り



2024. 5

第204号

*:

目 次

*:

1 ポートエッセイ —ライバル—

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

2 トピック

●小樽港第3号ふ頭クルーズ船岸壁供用記念式典・みなとオアシス小樽登録証交付式を開催しました

(小樽市産業港湾部港湾室)

●生まれ変わった天保山客船ターミナルが使用開始

(近畿地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室)

*:

1 ポートエッセイ —ライバル—

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

*:

毎年、全国の県庁所在地と政令指定都市を対象に行われている総務省家計調査。2023年の結果が先般発表になっていた。例年マスコミで盛んに取り上げられているのが「餃子」と「ラーメン」の支出額の順位である。

ニュースでは「餃子」の購入額について、2023年の1位は浜松市で2位宮崎市、3位宇都宮市の順となり、浜松市は3年ぶりに日本一の座を奪還したと報じていた。長年浜松市と宇都宮市が日本一をめぐるライバルとして激しい競争を繰り広げていたが、3年前の調査から宮崎市が2年連続で1位となり、「3強」時代になっているようだ。

一方、「ラーメン」の世帯当たり年間支出額は2021年にそれまで8年連続日本一であった山形市を抜いて1位となったのが私の住む新潟市である。残念ながら2022年と2023年と2年連続でライバルの山形市にその座を奪われた。山形市の熱意と取り組みの結果に敬意を表したい。今年こそは1位を奪還できるよう、5大ラーメンをはじめとする多様な新潟ラーメンの美味しさや魅力を発信していきたい。

このように良いライバル関係を築きつつ、業界全体が盛り上がり、ひいてはお互いにプラスになれば良いと感じている。実際にお互いが切磋琢磨し、競い合うさまがたびたびメディアで報道されるが、その宣伝効果たるや計り知れない。これからもマスコミには大いに盛り上げてもらいたいものだ。

スポーツ界においても、ライバル関係は選手の成長に大きく影響する。世界で戦うトップアスリートにとって、好敵手の存在は互いを高め合うポジティブな関係を築いている。

世界を見渡すと、長年にわたるライバル同士の対立はしばしば戦争、紛争、制裁、あるいはこれらの脅威に発展している。現在のロシアとウクライナ、パレスチナとイスラエルも同様である。ライバル同士であっても、高みを目指して競い合うことこそがライバルにふさわしいと言えるが、武力で対抗しているようでは発展を望めない。平和的な解決の糸口は無いものだろうか。一刻も早い停戦を願う。

*:

2 トピック

*:

●小樽港第3号ふ頭クルーズ船岸壁供用記念式典・みなとオアシス小樽登録証交付式を開催しました (小樽市産業港湾部港湾室)

令和6年4月21日(日)、小樽港クルーズターミナルにおいて、北海道開発局小樽開発建設部と小樽市の共催により、ダイヤモンド・プリンセスの入港に合わせ「小樽港第3号ふ頭クルーズ船岸壁供用記念式典」を開催し、国会議員や小樽市長のほか多数の関係者が参加され、小樽双葉高等学校吹奏楽部による演奏とおたる潮太鼓保存会による打演が式典に花を添えました。

小樽港に入港する大型クルーズ船は、これまで観光の中心地から約2.5km離れた勝納ふ頭を利用しておりましたが、本年3月に完成した第3号ふ頭のクルーズ船岸壁は、14万トン級クルーズ船に対応し、昨年竣工100周年を迎えた小樽観光を代表する小樽運河や中心市街地に近く、既存上屋を改修したクルーズターミナルや大型バス駐車場も整備され、クルーズ旅客の利便性向上が図られるとともに、本市を含む周辺の観光消費とクルーズ船寄港増大に大きな期待をしています。

また、3月25日にオープンした第3号ふ頭基部の新たな観光商業施設である「小樽国際インフォメーションセンター」を代表施設とした、「みなとオアシス小樽」の登録証交付式も同時に開催され、国土交通省堂故副大臣から設置者である小樽市長へ登録証が交付されました。

一方、第3号ふ頭基部では、緑地や観光船ターミナル等の整備を令和7年度末の完成を目標に進めており、新たな人の流れを生み出す、みなと観光の拠点として、今後大きく様変わりするものと考えております。小樽港は、「港を巷に」をコンセプトに、更なる賑わいの創出に向けた取組を進めてまいります。



テープカット・くす玉開披



ダイヤモンド・プリンセス



みなとオアシス小樽・登録証交付



小樽国際インフォメーションセンター

